

秦野の霊園建設問題:霊園開発、再度許可差し止め要望 市長に自然保護団体 / 神奈川

毎日新聞 2014年08月09日 地方版

秦野市渋沢の八国見山（319メートル）南面区域での大規模な霊園開発に反対する「渋沢丘陵を考える会」など同市の自然保護グループ4団体は8日、開発許可の差し止めを求める再要望書を古谷義幸市長に出した。

今年6月に提出した要望書で「霊園開発事業者は市条例で認められていない株式会社」と指摘したにもかかわらず、市が7月に「事業主体は公益財団法人」と回答したことに疑問があったとした。

これまでに同市は、霊園開発を計画する公益財団法人「相模メモリアルパーク」（愛川町）は1995年、造園などを手掛ける湘南地域の株式会社と霊園用地取得の委託契約を交わし、株式会社は契約に従って用地を先行取得したと説明。これに対し考える会は、株式会社は開発許可が交付される前に霊園計画地外に霊園関係の駐車場を造成するなど、実質的に開発事業を行っていると主張している。

04年に同市がまとめた霊園計画の概要（案）では、事業主体として株式会社の会長を設立予定者とする、今後設立予定の財団法人名が明記されていた。

再要望書では「実態は公益財団法人の名義貸しによる株式会社の霊園開発ではないか」と指摘し、開発許可の差し止めを求めた。【高橋和夫】